

法要とは故人を供養するという意味の仏教用語で追善供養ともいいます。

法要は故人を偲び冥福を祈るために営みます。冥福とは冥途の幸福のことで、故人があの世界で良い報いを受けてもらうために、この世に残された者が供養をします。仏式では法要を行う日が決まっており、亡くなられた後、七日ごとに四十九日まで行う忌日法要(きびほうよう)と、一周忌、三回忌、七回忌、十三回忌、十七回忌などの年忌法要(ねんきほうよう)があります。

初七日 七日目 遺族、親族、友人・知人などで供養し、読経・焼香のあと会食をします。

二七日忌 十四日目 遺族で供養します。読経・焼香は省略することが多いです。

三七日忌 二十一日目 遺族で供養します。読経・焼香は省略することが多いです。

四七日忌 二十八日目 遺族で供養します。読経・焼香は省略することが多いです。

五七日忌 三十五日目 遺族、親族、友人・知人などで忌明けの法要を行います。

六七日忌 四十二日目 遺族で供養します。読経を省略することが多いです。

七七日忌 四十九日目 遺族、親族、友人・知人などで忌明けの会食を行います。

百か日忌 百日目 遺族、親族で供養します。読経を省略することも多いです。

一周忌 満一年目 遺族、親族、友人・知人などで供養を行った後に会食をします。

三回忌 満二年目 遺族、親族、友人・知人などで供養を行った後に会食をします。

七回忌 六年目 遺族、親族で供養をし、七回忌以降は、少しずつ規模を小さくするのが一般的です。

十三回忌 十二年目 遺族だけで行うことが多いです。

十七回忌 十六年目 遺族だけで行うことが多いです。

二十三回忌 二十二年目 遺族だけで行うことが多いです。

二十七回忌 二十六年目 遺族だけで行うことが多いです。

三十三回忌 三十二年目 遺族だけで行うことが多いです。区切りの年忌法要です。

三十三回忌、五十回忌をした後、五十年ごとに行う場合もありますが、ここで終了するのが一般的です。

なごみ一席

成庵

〒九六三、八七四

福島県郡山市深沢二丁目一ノ七

電話 〇二四・九三二・〇七五三

FAX 〇二四・九三二・〇七五五

営業時間

午前11時30分～午後9時

《休業日》水曜日・1月1日～3日

《ご法事》お気軽にご相談くださいませ

